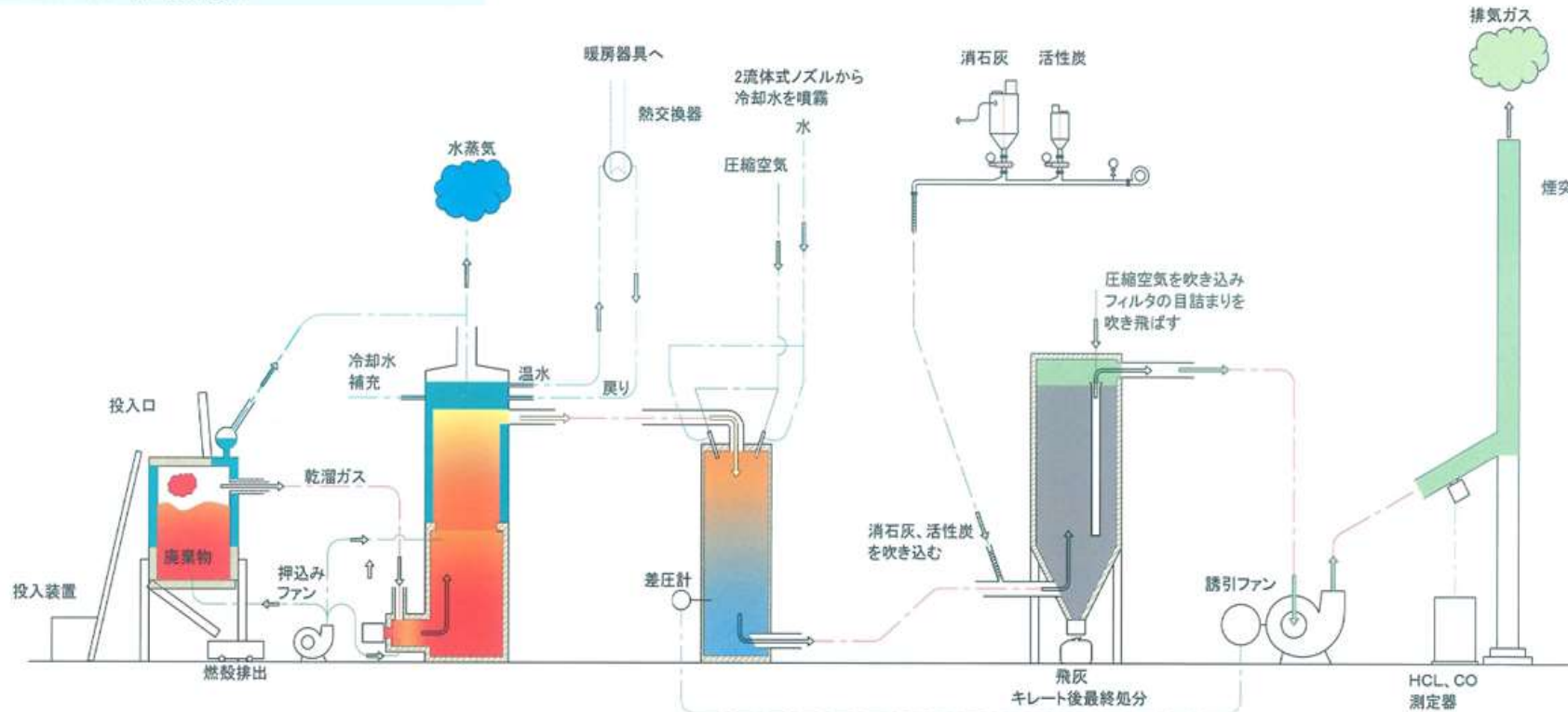


## 上富良野第一施設システムフロー図

株式会社キンセイ産業製  
一括投入乾溜ガス化焼却 温度設定自動燃焼方式  
GB-20W-7900 特型焼却装置



### 乾溜炉(A、B 2炉)

上部の投入口、下部の燃殻排出扉を閉じ、炉内の廃棄物にバーナーで火を着ける。乾溜炉に押し込む空気量を調整しながら乾溜ガスを発生させる。炉体は、水ジャケット構造となっていて温度が上がり過ぎない構造になっている。

### 燃焼炉

乾溜炉で発生した乾溜ガスにバーナーで着火し完全燃焼させる。ガスは、800℃以上で2秒以上滞留させダイオキシン発生を防ぐ。塔上部は、水ジャケット構造で温水を外部に取り出すことが出来る。ESGでは、熱交換器を経由し暖房装置の熱源として使用している。

### 冷却塔

燃焼ガスに、2流体ノズルから水を噴霧し、ガスの温度を200℃以下まで急冷する。ダイオキシンの再合成阻止と粉塵の除去が目的。

### バグフィルタ

細かい飛灰を含んだ排気ガスを濾布を通過させることで取り除きます。濾布の目詰まりを解消する為に濾布の反対側より圧縮空気を吹き込み濾布の逆洗を行います。バグフィルタ入り口では、消石灰と活性炭を吹き込みガス中の塩化水素分の中和とダイオキシンの吸着を行ないます。

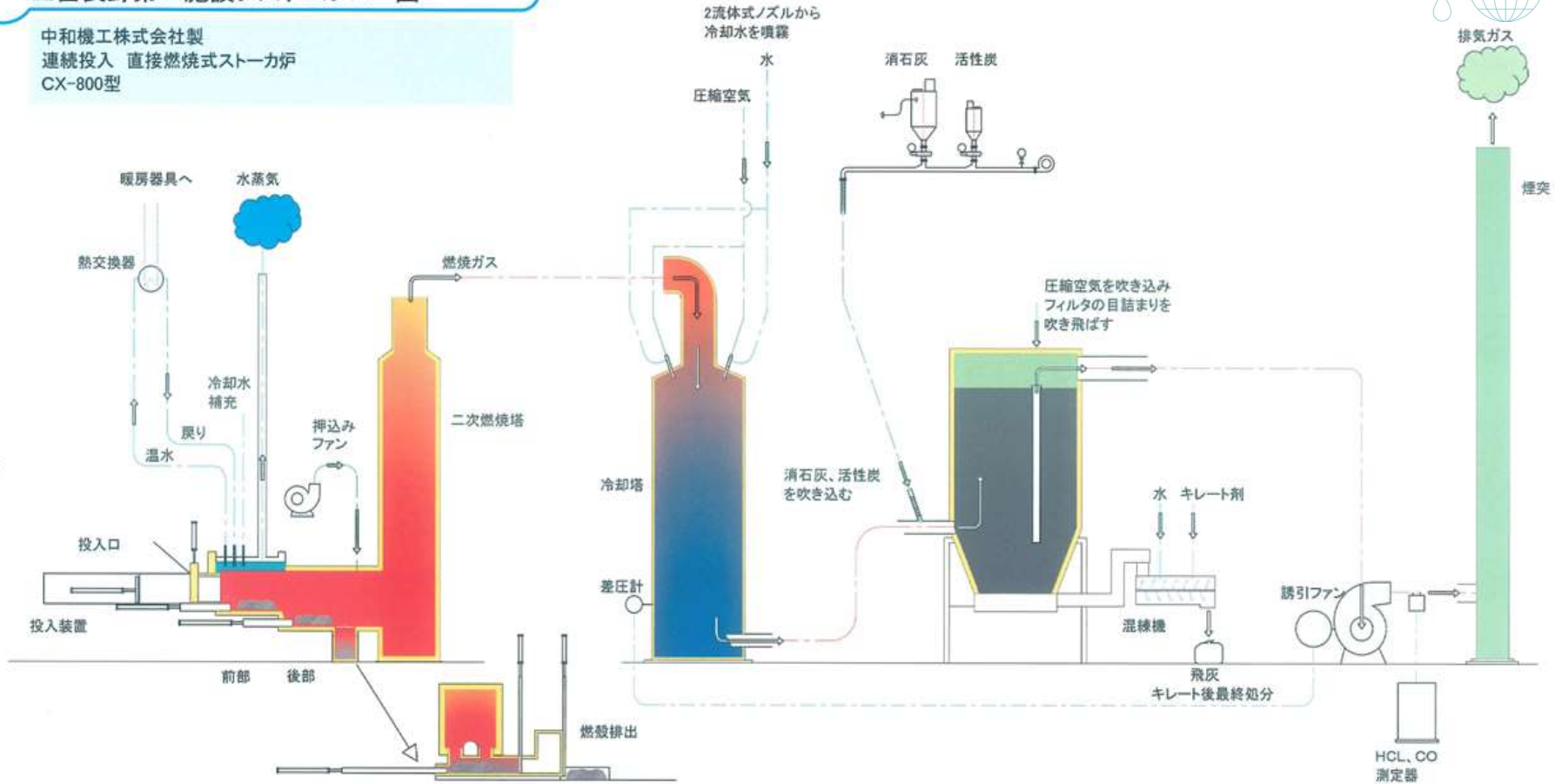
### 誘引ファン・煙突

下流から排気ガスを引っ張ることでバグフィルタを通過させます。炉内の圧力を負圧下に保持することで炉外への有害ガス漏洩を防止します。(差圧計の検出値を基にファン回転数を比例制御) 煙突には、排気ガスの成分を連続的に検出する測定器が設置されている。消石灰の吹き込み量は、この測定値に比例制御されている。



# 上富良野第二施設システムフロー図

中和機工株式会社製  
連続投入 直接燃焼式ストーカ炉  
CX-800型



**投入口**  
投入する廃棄物の重量を確認しながら自動開閉する投入扉内へ廃棄物を投入する。

**一次燃焼室前部**  
炉体は、水ジャケット構造となっていて温度が上がり過ぎてクリンカが発生し難い構造になっている。燃焼に必要な空気は、押し込みファンが供給している。

**一次燃焼室後部**  
炉体は、断熱材で覆われており高熱の雰囲気下で燃焼させることが出来る。燃焼に必要な空気は、押し込みファンが供給している。

**二次燃焼塔**  
一時燃焼室からの燃焼ガスを完全燃焼させます。燃焼ガスは800℃で2秒以上滞留させダイオキシン発生を防ぎます。

**燃殻排出口**  
燃焼が終わった燃殻を炉外に排出します。

**冷却塔**  
燃焼ガスに、2流体ノズルから水を噴霧し、ガスの温度を200℃以下まで急冷する。ダイオキシンの再合成阻止と粉塵の除去が目的。

**バグフィルタ、キレート処理**  
細かいばいじんを含んだ排気ガスを濾布を通過させることで取り除きます。濾布の目詰まりを解消する為に濾布の反対側より圧縮空気を吹き込み濾布の逆洗を行います。バグフィルタ入り口では、消石灰と活性炭を吹き込みガス中の塩化水素分の中和とダイオキシンの吸着を行います。重金属が、ばいじんから溶出しないようにキレート処理を行いません。

**誘引ファン・煙突**  
下流から排気ガスを引っ張ることでバグフィルタを通過させます。炉内の圧力を負圧下に保持することで炉外への有害ガス漏洩を防止します。(差圧計の検出値を基にファン回転数を比例制御)  
煙突には、排気ガスの成分を連続的に検出する測定器が設置されている。消石灰の吹き込み量は、この測定値に比例制御されている。